資料④

西荻窪地域（仮称）デザイン会議　運営会議③　議事要旨	
日　時	令和７年４月 21 日（月）18：35～20：40
場　所	勤労福祉会館（西荻地域区民センター）
方　式	会議（対面）
出席者	運営スタッフ 19 名（欠席８名） 事務局 10 名（杉並区８名、全体ファシリテーター１名、受託業者１名）
議　題	1. 令和７年度の進め方 2. 第４回（仮称）デザイン会議プログラム
配布資料	資料１　運営会議資料 資料２　第３回（仮称）デザイン会議で出された意見の要旨（案） 資料３　第３回西荻窪地域（仮称）デザイン会議　意見要旨の整理
議事要旨	**１　はじめに** ・運営スタッフ、区側出席者紹介（区職員、全体ファシリテーター、受託業者）等 **２　令和７年度の進め方について** ・令和７年度の活動案について区と受託業者から説明した。 ① 令和７年度は全体会を６月と２月、テーマ部会を８月と 10 月に実施予定としている。運営会議はテーマ部会の発足前にも行うため、７月と 11 月に実施予定。 ② テーマ部会は複数参加を可能とし、継続的な参加を原則と想定している。 **＜運営スタッフから出た意見＞** **〇テーマ部会のテーマ設定について** ・テーマ案のタイトルで部会の中身が縛られるのか。例えば善福寺川調節池について話すと、テーマは防災だが、環境などにも関係するので、限定することはできない。 ➢ 今回示した５つのテーマ案は第３回全体会で出された意見をまとめたものであり、部会の内容を縛るものではない。 ・テーマ別には議論しないという方向性でまとまったと認識していたが、次回の全体会でまたテーマで分けようとしているのか。 ➢ 今回示した５つのテーマ案はあくまでも第３回の意見をまとめたものであり、全体会でテーマ別にグループを分けた討議を行うわけではない。 ・今あるカテゴリー分けでは皆納得できないのではないか。現在のテーマは互いに絡んでしまって、ひとつに決めかねる。みんなで話し合って決められると良い。 ・補助 132 号線の道路用地に花を植えたりするなど、拡幅しないまちづくりを展開したい。 ・テーマ部会で、都市計画道路の見直しや代案を検討するといった部会を設定してはどうか。ただ、こうした道路計画の賛否で（仮称）デザイン会議を分断はしたくない。

	〇テーマ部会の進め方について ・活動計画案では８月と 10 月に開催するとなっているが、決定したスケジュールか。６月までに部会を発足できるか心配だ。 ・テーマ部会での取組を第４回（仮称）デザイン会議全体会の中で決めきれるか心配だ。事前に「部会で取り組みたいこと」を考えてくるよう、参加者に宿題を出しても良いのではないか。 ・早期に取り組むべき課題については令和７年度中に始動したい。 ➢ 早期に取り組むべきことについては今年度から順次始動していけると良い。 ・すでに道路用地はあるが、草が繁茂してきている。テーマ部会の活動として、道路用地の維持管理活動をすぐにでも始めたい。知人などにも声をかけ始めている。 ➢ 道路用地を区有地として管理するには時間がかかるため、まだ使うことはできない。そうした活動について、（仮称）デザイン会議の中で部会での取組事例として取り上げてはどうか。 **〇情報共有の場について** ・グループ討議で意見や情報を伝えられる範囲が限られてしまうので、参加者全員に伝えられる機会がほしい。 ・補助 132 号線の道路拡幅整備により最も影響を受ける人の意見を十分に聞けていないのではないか。 ・賛成、反対の意見を知りたい。それを伝えるのが情報共有の第一歩ではないか。 ・反対の方の意見を聞く機会として、パネル展示や情報博覧会の場は適しているのではないか。 ・テーマ部会の活動成果を伝える場として第５回全体会を計画しているが、年度末では遅い。部会の報告会としてではなく、基礎情報を共有する場としてもっと早い時期に実施できると良い。 ・参加者も含め、情報を全て出すことが大切だ。その想いで前回「情報博覧会」を提案した。会議では敷居が高く意見を言いにくい人も、フランクに参加できるような場をつくりたい。 ・毎回の全体会の前後の時間に、情報共有の場を設けられると良い。 ・情報を共有する取組は、テーマ部会の１つとして継続的に行っても良いのではないか。 **〇その他** ・（仮称）デザイン会議に他部署の区職員に参加してもらいたい。 ➢ 部会の内容に合わせて、声掛けをしていきたい。 ・区だけで準備が大変なところは、運営スタッフもぜひ協力させてほしい。パネル製作や会場設営・片付けなどは手伝うことができる。 **＜議論のまとめ＞** ◎テーマ部会は、次回の運営会議でさらに検討する。

	3　第４回(仮称)デザイン会議のプログラムについて ・第４回プログラム案について区と受託業者から説明した。 ① 第４回(仮称)デザイン会議全体会の開始前に、情報共有や事前学習の場として活用できるようなパネル展示を予定している。 ② 全体会では、事例紹介などの情報をインプットしたうえで、部会の具体的検討内容を考える。 **＜運営スタッフから出た意見＞** **〇パネル展示について** ・依然として道路計画に対し様々な意見があり、道路計画についての情報を参加者みんなで共有するための学習会が必要。行政側が一方的に行うパネル展示だけでは不十分。 ➢ 今日欠席の方からも道路拡幅事業への反対意見の取り扱い方についてご意見が寄せられている。これらの意見を踏まえ、今回のプログラム案では情報提供の時間を多く割いていたり、パネル展示では情報提供だけで無く、道路事業への疑問に答えたり意見を聞くことも想定している。 ・区が考える情報提供だけではなく、自分の意見を全体に伝える場を設定してほしい。前回提案された情報博覧会を第４回全体会で実施できないか。 ・現在区が計画しているパネル展示は、区にとって有利な情報を一方的に伝える場になってしまうことを懸念している。パネル展示の内容を事前に確認したい。 ・運営スタッフの作成資料を一緒に展示し、運営スタッフが説明員として立ちたい。 ・パネル展示は行政側の情報を参加者が再度確認するという点で非常に大切だ。 ・これまでの議論を通して区が課題だと認識している内容をパネル展示で示せば、一方的な情報発信の印象を緩和できるのではないか。 ➢ 第４回ではパネル展示だが、学習会的なことも別途で考えていく ➢ 区としては、まず都市計画道路の所管課でまとめたものをパネル展示として見てもらいたいと考えている。次回だけでパネル展示を終わらせるのでは無く、回を重ねてブラッシュアップしていきたい。 ・第２、３回のグループ討議で使用された机上資料は会場に準備しておいてほしい。 **〇事例紹介の講師について** ・事例紹介を依頼する専門家を事前に知りたい。（仮称）デザイン会議の参加者にも説明できる人はいる。 ➢ 講師を招く機会は今回限りではないため、意見があれば寄せてほしい。 ・ウォーカブルなまちについては国土交通省 都市局で実施している。ほこみちフォーラムメンバーは道路空間の創造的・多様な活用を促すことを目的に活動しているため、事例紹介者として相応しいと思う。昭和型の古い道路に関する情報では無く、アップデートした情報がほしい。 ・世田谷区太子堂のまちづくりを長く実践している人の話を聞けるとよい。

	〇事例紹介の時間配分について ・短い時間での事例紹介を聞いただけでは内容を十分に理解できないと思う。ある程度事例紹介の時間を設けることが必要だろう。 **〇情報の共有について** ・初めて参加する人にも（仮称）デザイン会議や都市計画道路事業の経緯がわかるように、簡潔な資料を用意できると良い。 ・会議当日にインプットできる情報には限りがあるため、道路計画や先進事例紹介を含め、情報を WEB で公開し、誰もがアクセスしやすくしてほしい。 ・会の前後に参加者同士の交流時間をとり、参加者のお互いの立場や関心のある分野を共有することで、グループ討議でより活発な意見交換ができるのではないか。 **＜議論のまとめ＞** ◎まずは区のまとめた都市計画道路事業についてのパネル展示を、第４回（仮称）デザイン会議全体会の開始前に実施する。 ◎パネル展示の内容は、開催前に区から運営スタッフに情報共有する。 ◎今回提案したプログラム案をもとに、事例紹介の時間を増やす。グループ発表を割愛し、グループ討議の時間を確保する。 ◎事例紹介で話を聞きたい事例などについて、後日、専用フォームで区から運営スタッフに意見を聞く。 ◎会場の撤収時間などを考慮し、閉会後に区の職員や参加者同士が自由に交流できる時間を作るよう検討する。 **４　おわりに** ・区から、第４回(仮称)デザイン会議の開催時期（６月上旬）等を説明した。 以上

資料１

（仮称）デザイン会議西荻窪

運営会議③
(令和7年度1回目)

令和７年４月21日
勤労福祉会館（第３・４集会室）

今日のプログラム（次第）

18:30 1. はじめに
- 主催者挨拶
- 区職員、コンサルタント、全体ファシリテーター紹介
- 本日のプログラム確認

18:35 2. 令和7年度の進め方について
- 第3回(仮称)デザイン会議報告
- 本年度の進め方（全体構成）
- 意見交換

19:20 3. 第4回(仮称)デザイン会議プログラムについて
- 進め方案
- 意見交換

19:55 4. おわりに
- 第4回会議に向けた今後のスケジュール

20:00 閉会

第３回（仮称）デザイン会議報告

開催概要
日時・場所：令和７年２月１６日（日）１３時～１５時３０分
勤労福祉会館　第３・４集会室
参加者数　：５６名

■第２回会議のふりかえりと運営会議の結果報告
■グループ討議「課題解決策のアイデアを考えよう」
第２回会議で出された「課題解決の方向性と解決策のアイデア案」に関する意見に基づき、グループに分かれて討議を行いました。

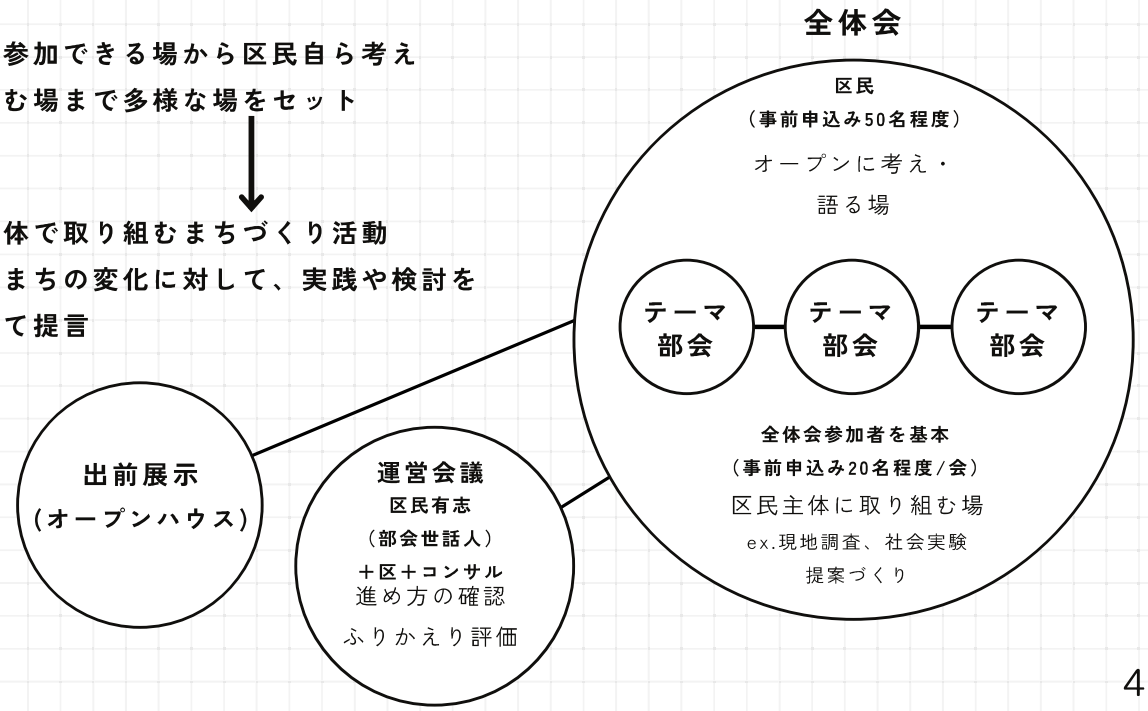
テーマ１　早期に対応すべき課題の解決策のアイデア
テーマ２　来年度のデザイン会議で取り組みたいこと

各会の位置づけ

誰もが参加できる場から区民自ら考え
取り組む場まで多様な場をセット

↓

地域主体で取り組むまちづくり活動
地域のまちの変化に対して、実践や検討をとおして提言



（仮称）デザイン会議の実施方針（西荻窪）

1年目
6年度

区と区民協働の
対話の場の設定

成果
地域ごとの対話の場の創出
区・区民協働の対話の場の運営

課題
具体的なアクションに繋がっていない

2年目
7年度

区と区民協働の
取り組みキックオフ

ポイント
①これまでの成果とゴール確認
②取り組みテーマと実施方針検討
③取り組み開始前に地域の現状や参考事例を学んだ上で、取組開始

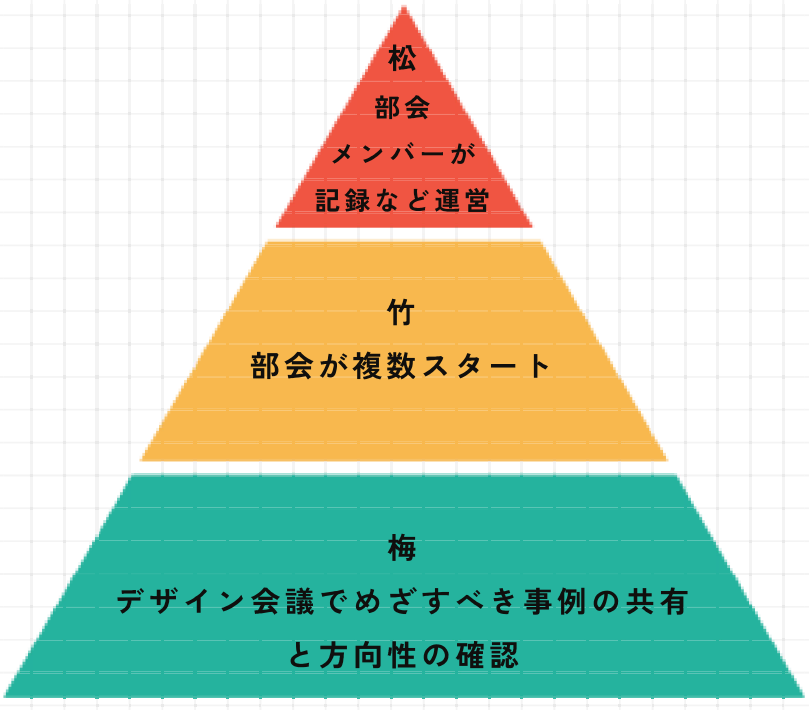
3年目
8年度

区と区民協働の
取り組み本格稼働

ポイント
①テーマ部会を中心に活動実施
②活動を広くアピール、ふりかえる
③参加者の輪を広げる

令和7年度目標

参加者のニーズや進め方に応じて、ゴールを複数設定。



活動計画案（西荻窪）

役割	内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
運営会議	• 年度ごとの全体計画の確認 • 部会の進捗管理 • 全体会のふりかえり評価	#3 21㈭			#4				#5				
全体会	• 住民協働で取り組むまちづくりの進め方の方針確認 • デザイン会議全体の取り組み報告・ふりかえり			#4								#5	
テーマ別部会	• 継続的に住民主体で取り組む場 ※テーマや実施イメージは後述					#1 #2		#3 #4					

テーマ部会の報告の場
共通テーマの検討など

複数参加しやすいよう
同日午前と午後に複数
部会を開催予定

運営会議

(仮称)デザイン会議開催前の区・区民との調整の場

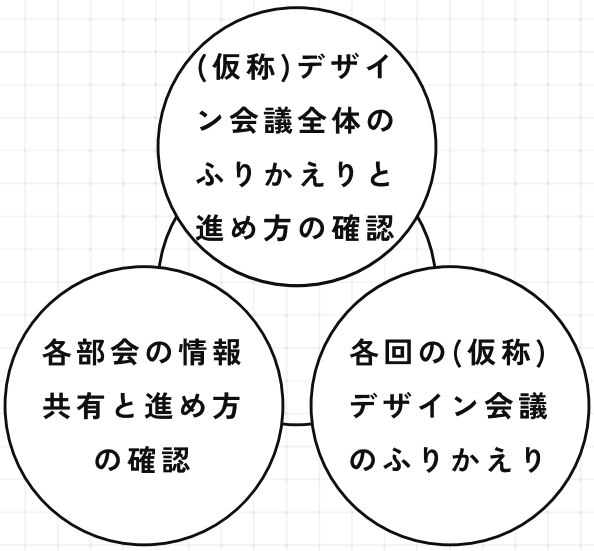
令和7年度全体会議の前に実施

第1回（#3）
- **７年度の進め方の確認**
- **第４回(仮称)デザイン会議の進め方の確認**

第2回（#4）
- **テーマ別部会の進め方の確認等**

第3回（#5）
- **第５回(仮称)デザイン会議の進め方の確認**
- **８年度の進め方の確認**

令和8年度以降
部会世話人を中心にテーマ部会の進捗管理と全体会議の前の企画

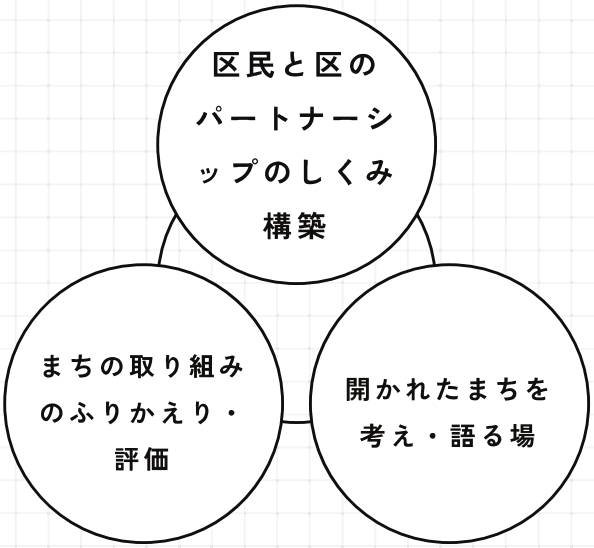


全体会

区民等が主体となって、区とともに将来のまちづくりについて考え、協働していく新たな対話の場

第4回(仮称)デザイン会議全体会のねらい

1.令和7年度の進め方を確認する。
2.テーマ別部会の具体的な内容を事例や情報提供をとおして、部会活動への理解を深めてもらう。
3.実施する部会テーマの選択に活かす意見を収集する。
4.情報共有の場として、事前学習会を実施する。

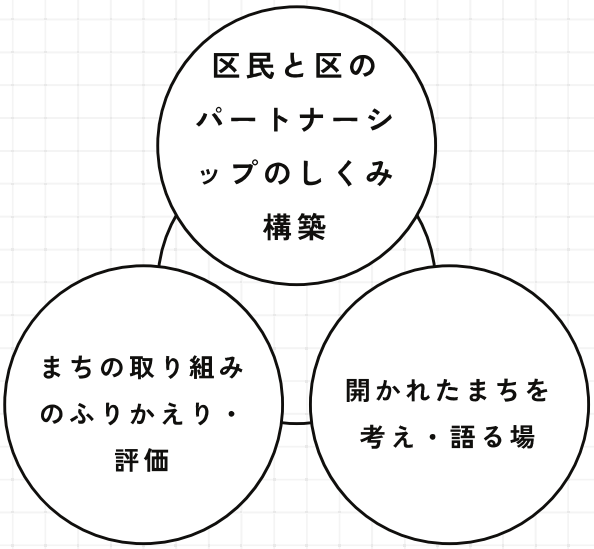


全体会とテーマ別部会の違い

区民等が主体となって、区とともに将来のまちづくりについて考え、協働していく新たな対話の場

- 全体会：１回のみの参加も可
- テーマ別部会：どれか一つのみの所属とはせず、興味関心に合わせて複数参加も可とする。

※ただし継続的な参加をお願いしたい。



テーマ別部会

部会のねらい　**①言いっぱなしにせず、調べたり、考えたり、試すことをとおしてまちの将来像や課題解決方針を探る**
②機動力をもって地域に取り組む体制の素地を作る
③区民の問題意識を大切にし、それを区や事務局がサポート

これまで出された意見・部会テーマ案

商店街・街並み
まちの魅力や個人商店がある中低層の街並みを守る
商店街の活性化
商店街マップづくり

まちのしくみ ルール
現況と将来の姿を理解したうえで西荻窪のまちや補助132号線沿道のあり方を考える

歩行者との共存
ウォーカブルなまちや人中心の道づくり
- 歩行者と共存した自転車交通
- バス交通ネットワーク
- スローモビリティ
- 地域交通の増加緩和

みどり・広場
子どもや高齢者、障がい者などの居場所や遊び場を確保
空地（道路用地）の活用
空家の活用、社会実験
広場や公園のあり方や整備計画の検討
まちの水調整機能アップのための道路用地などのグリーンインフラ活用

防災
避難所整備などの防災対策
体験型防災訓練による地域コミュニティ育成
善福寺川調節池計画の内容と影響把握

※これらのテーマ部会とは別に、
道路に関する勉強会の開催や、情報発信の方法についても考えていきます。

テーマ別部会

進め方(案)

事例収集や経験者の話を聞く
↓
進め方の検討

社会実験、イベント開催

道路でのマーケットや子どもの遊びイベント（二子玉川）

参加型調査（交通量やアンケート）

子ども参加による交通量調査（二子玉川）

話し合い（提案などの作成）

公園と地域の連携の取り組み検討（都立木場公園）

まち歩き（現状の確認・共有）

障害当事者とともにまち歩き（下北沢）

第4回(仮称)デザイン会議（全体会）

日時	6月初旬　午後1時～（受付開始12:30～）
会場	桃井第三小学校　体育館
開催案内	すぎなみボイス、広報すぎなみ、X、LINE、公式ホームページ、掲示板、開催ニュース配布
対象	区内在住、在勤、在学の方（参加想定数60名）募集上限なし
同時開催（予定）	同日午前10時～正午 パネル展示による事前学習の場（事前申込み不要・入退場自由）

第4回西荻窪(仮称)デザイン会議プログラム（案）

ポイント

事例紹介などの情報インプットを行った上で部会の具体的検討内容を考える

スケジュール

時刻	所要時間	内容
13：00	5	1. はじめに
13：05	15	2. 説明 ・昨年度の検討結果及び第3回会議の報告 ・本年度の進め方
13：20	30	3.先進事例や制度の紹介 例） ・北沢デザイン会議やシモキタリングまちづくり会議の取り組み ・道づくりの住民参画の他地区の事例 ・ウォーカブルなまちの施策や制度紹介
13：50	60	4.グループ討議 ①事例の感想とともに自己紹介 ②部会で取り組みたい具体的な内容の検討 ③部会で取り組む際の課題整理（運営方法などをふくむ）
14：50	10	休憩
15：00	25	5. 全体討議
15：25	5	6. おわりに ・次回会議の予定 ・ふりかえりシート記入のお願い
15：30	-	閉会

資料 3

第 3 回西荻窪地域（仮称）デザイン会議
意見要旨の整理

◆デザイン会議や部会での議論のベースづくり

⊙ 勉強会やまちあるきによる西荻窪のまちの変化と現状の把握及び補助 132 号線計画の現状把握と情報共有

必要な情報・データ

- 補助 132 号線の基本情報や計画策定の経緯
- 補助 132 号線の必要性や整備効果
- 沿道の歩行者や自転車の安全性を確保する対策

→ 情報提供の方法

- 区と住民による検討に役立つ情報提供イベントの開催
- 西荻窪の課題や魅力が整理された学習プログラムの提供

⊙ デザイン会議に関わる層の拡大

- ○ 第 3 者的なビジョンが持てる通勤通学者・来街者、学生などの若い世代、商店街関係者や JR などの民間企業の参加促進
- ○ ユニバーサルデザインの視点から障がい者や高齢者の参加の促進
- ○ 杉並区の他部署との連携強化や情報共有

◆デザイン会議（本会議・部会など）で検討したいテーマ

⊙ **現況と将来の姿を理解した上での西荻窪のまちや補助 132 号線沿道のあり方の検討**

- ○ まちづくりの方向性や理念の検討
- ○ 補助 132 号線の断面・デザインの検討
- ○ 補助 132 号線の整備を沿道やまちの質の向上に活かす方策の検討

検討に必要な情報・データ

先進的な市民参加型まちづくりの事例
例）オレゴン州ポートランド　世田谷区（北沢デザイン会議・太子堂）
西荻窪のまちづくりに関係する事業者や住民の意見
まちの状況把握のための調査手法

→ **検討の成果（課題の解決策）**

- ✓ 西荻窪の将来ビジョンの作成
- ✓ 沿道状況に応じた補助 132 号線の道路デザインの設計
- ✓ 補助 132 号線周辺エリアを対象としたまちづくり協議会やまちづくり団体の設立
- ✓ テーマを限定しないまちに関わる様々な対話・企画を行うプロジェクト型の場の設定
- ✓ 地域活動への参加促進による人材育成

⊙ **ウォーカブルなまちや人中心の道づくりの検討**

- ○ ウォーカブル区域指定を念頭に商店街の活性化を踏まえた人優先の道路の検討
- ○ 歩行者と共存した移動しやすい自転車交通の検討
- ○ バス交通ネットワークの整備やモビリティバスの活用
- ○ 地域交通の増加の緩和の検討

検討に必要な情報・データ

ほこみち（国土交通省道路局の歩行者利便増進道路）に関する情報
ウォーカブル区域の内容や区域指定に向けて必要な事項

→ **検討の成果（課題の解決策）**

- ✓ ウォーカブルなまちを目指した道路のあり方や設計
- ✓ ソフト対策によるウォーカブルなまち・歩車共存の実現
- ✓ 街の回遊性を高める空間づくり
- ✓ 自転車専用レーンの整備・駐輪場の現状把握と新設　バスロータリーの拡大

⊙ **商店街や個人商店の維持・発展に向けた検討**

○ 商店街マップづくり

→ **検討の成果（課題の解決策）**

- ✓ 西荻窪の文化や街の空間、店舗を生かした特徴あるイベントの開催
- ✓ 気候変動対策としての量り売り商店の普及
- ✓ 若い層をまちに巻き込む拠点の設置や西荻窪来訪の目的となる場の創出

⊙ **まちの魅力や個人商店がある中低層の街並みを守るまちづくりの方針の検討**

検討に必要な情報・データ

まちづくり方針やまちづくりのルール策定の先進事例
交通や建物に関する規制の内容や導入に向けた検討事項

→ **検討の成果（課題の解決策）**

- ✓ 補助 132 号線沿道のまちづくりのルール策定
- ✓ 個人商店と商店街の街並みを守るルール作り

⊙ **空地（道路用地）や空き家の活用の検討**

○ 道路用地や空地を使った社会実験の実施

検討に必要な情報・データ

有効活用の先進事例

→ **検討の成果（課題の解決策）**

- ✓ 道路完成までに賑わいを停滞させない道路用地の活用
- ✓ 道路用地のグリーンインフラ・ウォーカブルなまちづくりへの活用
- ✓ 空き家や空き店舗の利活用の仕組みづくり

⊙ **避難所の整備などの防災対策の検討**

○ 体験型防災訓練による地域コミュニティ育成

→ **検討の成果（課題の解決策）**

- ✓ 参加しやすい防災・防犯ボランティア活動の実現

⊙ **身近なことから始めるグリーンインフラの普及と実践**

○　まちの水調整機能アップのための道路用地などのグリーンインフラ活用

→ **検討の成果（課題の解決策）**

✓　住民と行政が両輪となったグリーンインフラへの取組

⊙ **みどりを守り育てる方針の明文化に向けた検討**

○　関根橋周辺のデザイン検討や社会実験による緑の啓発

→ **検討の成果（課題の解決策）**

✓　住民と行政が両輪となる、条例等による緑の維持・拡大

✓　学校と連携した緑化の推進

✓　街路樹による暑さ対策

✓　緑化と安全性のバランスを管理する住民活動組織の設置

⊙ **広場や公園のあり方や整備計画の検討**

⊙ **子どもや高齢者、障がい者などの居場所や遊び場を確保する方策の検討**

⊙ **善福寺川調節池計画の内容や地域への影響の把握**